

## バレー元日本代表大山加奈さん 貴重な交流に生徒ら感激

1月25日、豊間根中学校（熊谷<sup>ひろかつ</sup>克校長）の全校生徒57人が、バレーボール元日本代表の大山加奈<sup>かな</sup>さんの講演と実技指導を受けました。講演では、「応援してくれる人を大切に」「人に頼ることは恥ずかしくない」など、自身の経験を振り返り、生徒らに伝えました。その後は、ボールを使ったストレッチ法などを指導。大山さんのスパイクを受けたバレーボール部の佐々木渚<sup>なぎさ</sup>さん（2年）は「たくさんアドバイスをもらった。大山さんのような選手になりたい」と感激していました。



## 山田高校存続へ向け町民集会開催 入学者増へ向け方針確認

1月28日、町中央公民館で「山田高校を存続させる町民集会」が行われました。支援団体「山田高校を支える会」などが主催したもので、会では、来年度の新入生について定員の80人を目指す方針を確認。県教育委員会が示す再編計画では、平成31年度に1学級となることがうたわれ、同校の存続が危惧されています。及川<sup>けんいち</sup>研一校長は、来年度から地域の課題とその解決策を探る新たな科目「ふるさと探究」を開設すること、英語教育に力を入れることなどを語り、同校の魅力をアピールしました。

## 町民の集いで山本昌邦さん講演 子どもを伸ばす極意を伝授

2月18日、町中央公民館で人づくり町づくり町民の集いが行われました。こたしの講師は元日本代表サッカー選手で解説者の山本昌邦<sup>まさくに</sup>さん。「子どもを伸ばす極意」と題し、約200人の来場者へ力説。指導者としての経験に裏打ちされた持論は説得力があり、来場者は聞き入っていました。現在トッププレーヤーとして活躍する教え子たちの話から、子どもらへは「あきらめないことの重要性」を、保護者や指導者へは「子どもが自分で考えられるようになるコーチング術」を伝えていました。



## 町民のことし一年の健康願い 山田八幡宮で節分祭開催

2月3日、山田八幡宮で節分祭が開催されました。これは、町民のことし一年の健康を祈願するために毎年行われているもの。当日は雪が降るあいにくの天気となりましたが、境内には多くの子どもたちが集まり、豆とお菓子、紅白の餅がまかれました。紅色の餅にはさまざまな景品が当たるくじが入っていて、訪れた人たちは天に向かって手を伸ばしました。当たりを拾った高野愛良<sup>あいら</sup>さん（山田南小6年）は「毎年来ています。当たりを拾えてよかったです」と笑顔を見せました。



# 町のわだい

今月の題字 阿部 おうすけ 鳳宥君 (大浦小3年)



## ミュージカル「美女と野獣」 子どもたちに満場の拍手

美女と野獣の間に芽生える真実の愛の物語に、本町の子どもたちが花を添えました——2月11日、特定非営利活動法人劇団ゆうの主催するキッズミュージカル「美女と野獣」の公演が町中央公民館大ホールで行われました。これは、沿岸部の芸術文化活動の支援を目的に行われているもので、ことしで7回目。本町からは40人の子どもたちが出演しました。会場には、約550人の観客が訪れ、子どもたちが「ビースト」や「ベル」といったおなじみのキャラクターたちとの踊りを披露すると満場の拍手を送っていました。

## 再現度をより高め3月11日に披露 山田駅CG再現の中間発表

2月3日と4日に、まちなか交流センターで旧・陸中山田駅再現プロジェクトの中間お披露目会が行われました。これは、筑波大学の協力のもと、町とNHK盛岡放送局が被災前の山田駅をコンピューターグラフィックス（CG）で再現するというものです。今回行われたのはその中間発表。再現度をより高めることを目的に行われ、参加者は再現された駅舎などを見ながら「ストープがあったよ」「ポスターもあった」などとアドバイスしつつ、昔話に花を咲かせていました。完成版はNHKの生放送にあわせ、3月11日にふれあいセンターで披露されます。

